学校番号	2002

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　古典探究（東京書籍）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館書店) シンプルスタイル 古文単語 301（尚文出版） 高校生の古典文法 七訂版（啓隆社） 新明説総合古典文法　基本練習ノート（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次に引き続き、古典の基本的な文法事項の習得と読解に取り組んでもらいます。
・単語帳『シンプルスタイル 古文単語 301』を各自で覚えて、古典の語彙を増やしていきましょう。また、文章の内容理解や、表現力を問うパフォーマンス課題を実施します。積極的に取り組んでください。
・『高校生の古典文法』を自分でよく見て、気づいたことはどんどん書き足していく習慣をつけましょう。
・漢文に関しては訓読のルールを忘れないように復習しておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「読むこと」の領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	説話に親しむ ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 c：古典特有の表現に注意して内容を味わい、説話を正確に読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	随筆を読む ［教材］ 『方丈記』 「ゆく河の流れ」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 c：古典特有の表現に注意して内容を味わい、作品の成立した背景と踏まえながら内容の解釈を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	日記を読む ［教材］ 『土佐日記』 「馬のはなむけ」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。また、作品の文章の種類とその特徴についての理解を深めようとしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 c：古典特有の表現に注意して内容を味わい、作品の成立した背景と踏まえながら内容の解釈を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	作り物語を読む	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために	定期考査	定期考査	

	［教材］ 『竹取物語』 「天の羽衣」	必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c:平安時代の文化や伝統に対する関心を深めようとしている。	ワークシート	ワークシート ノート	ノート 行動観察
二学期	日記を読む ［教材］ 『更級日記』 「門出」	a:先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c:古典特有の表現に注意して内容を味わい、登場人物の心情を理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	故事と成語 ［教材］ 「蛇足」 「断腸」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c:漢文の読み方やきまりを確認し、故事成語の内容を正確に読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	軍記物語を味わう ［教材］ 『平家物語』 「壇ノ浦の合戦」	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c:作り物語の内容を正確に読み取り、登場人物の心情を捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
三学期	史記を読む ［教材］ 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	a:先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈深め、作品の価値について考察している。 c:作品の内容を読み取り、登場人物の心情、行動、出来事を正確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間